

【専門基礎分野】

科目名	薬理学	講師名	非常勤講師	学	1	履修期	第2学期
単 位	1単位			年			
時間数	30時間						
授業概要	薬物作用の基本について理解し、各疾患治療薬の作用機序について学ぶ。重要な薬物、使用法の難しい薬物、疾患禁忌薬物について理解を深める。						
授業科目目標	1. 薬物が生体の機能に及ぼす薬理作用及び人体への影響や薬物の管理など、薬物の臨床における治療的応用の薬理学的知識が理解できる。						
授業計画	<p>1回：薬理概論</p> <p>2回：薬物動態</p> <p>3回：自律神経作用薬（交感神経系）</p> <p>4回：自律神経作用薬（副交感神経系）</p> <p>5回：糖尿病</p> <p>6回：脂質異常症</p> <p>7回：心疾患</p> <p>8回：循環器系（高血圧）</p> <p>9回：血液系疾患（抗血栓薬、抗凝固薬）</p> <p>10回：血液系疾患（止血薬、造血薬、白血病）</p> <p>11回：炎症性疾患</p> <p>12回：中枢神経作用薬 その1（パーキンソン病、てんかん、アルツハイマー病）</p> <p>13回：中枢神経作用薬 その2（睡眠薬、麻薬性鎮痛薬、麻酔薬）</p> <p>14回：中枢神経作用薬 その3（抗精神病薬、抗うつ薬、抗不安薬、気分安定薬）</p> <p>15回：終了試験</p>						
評価方法	筆記試験						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと促進 [3] 薬理学, 医学書院.						
参考書	<p>1. 田中千賀子・加藤隆一：NEW 薬理学, 南江堂.</p> <p>2. 鹿取信監修：標準薬理学, 医学書院.</p> <p>3. 柳澤 輝行他：カッティング薬理学, 丸善.</p>						
学生へのメッセージ	<p>講義は、配布資料を用いて行う。</p> <p>テキストは、講義内容の復習の際に活用すること。</p> <p>【関連科目】病理学Ⅰ～Ⅳ、臨床治療論、成人看護援助論Ⅰ～Ⅴ、老年看護援助論Ⅰ・Ⅱ、精神健康論</p>						